

2008年7月14日

各 位

ダイセル化学工業株式会社

子会社の事業の譲渡に関する基本合意書締結のお知らせ

ダイセル化学工業株式会社（社長：小川 大介）は、連結子会社である三国プラスチック株式会社の全ての事業をアロン化成株式会社（社長：矢田 昭）へ譲渡することに関する基本合意書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業の譲渡の理由

三国プラスチック株式会社は 1927 年に当社（当時は大日本セルロイド株式会社）三国加工場を分離、三国セルロイド株式会社として設立されました。第二次世界大戦後、石油化学の勃興とその後の技術の変遷に伴い、セルロイド製品からプラスチック製品の加工・販売に移行、1973 年に社名を現社名の三国プラスチック株式会社に変更し、現在に至っております。

三国プラスチック株式会社は、主に水道用品（レジンコンクリート製マンホール、塩化ビニル製伸縮継ぎ手、ペットボトルリサイクル樹脂製量水器筐 等）、自動車部品、工業部品、OA 機器部品、建設機械部品、家電部品などプラスチック製品の製造・販売を行っておりますが、これらの事業群は現在のダイセル化学グループの主力事業とのシナジー効果を期待できるものが少なく、事業の選択と集中という観点から当社グループ外での発展の道を模索しておりました。一方、アロン化成株式会社は、下水道分野を中心に塩化ビニル製継ぎ手やパイプなどの製造・販売を行っており、三国プラスチック株式会社との営業上・生産上の統合シナジー効果は非常に大きいと考えられます。本事業の譲渡によりアロン化成株式会社の傘下に入ることで、三国プラスチック株式会社の主力事業がより強化し発展することが期待できるものと判断し、本事業の譲渡を行うことの基本的事項に関する合意書を締結するに至りました。

2. 三国プラスチック株式会社の概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 代表者 | 伊藤 徹宜 |
| (2) 本店所在地 | 大阪市淀川区 |
| (3) 設立年月日 | 1927年7月14日 |
| (4) 主な事業内容 | 水道用品（レジンコンクリート製マンホール、塩化ビニル製伸縮継ぎ手、ペットボトルリサイクル樹脂製量水器筐 等）、自動車部品、工業部品、OA 機器部品、建設機械部品、家電部品等のプラスチック製品の製造および販売 |
| (5) 資本金 | 3億15百万円 |
| (6) 株主および所有割合 | 当社 100% |

3. 事業の譲渡先

- (1) 商号 アロン化成株式会社
- (2) 代表者 矢田 昭
- (3) 所在地 東京都品川区
- (4) 当社との関係 資本的関係、人的関係、取引関係ともございません。

4. 事業の譲渡の方法

三国プラスチック株式会社の 100%出資子会社である三国化工株式会社へ事業に必要な資産および契約上の地位その他の権利義務を吸収分割し、吸収分割後、三国化工の株式の全てをアロン化成株式会社へ譲渡する予定です。

5. 譲渡日程

2008年10月1日(予定)

以 上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

ダイセル化学工業株式会社 事業支援センター IR広報グループ

電 話 : 03-6711-8121